



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ 新たな活動にチャレンジする組織 ～



1. 組織の概要

今治南甲・北保全会は、今治市の旧朝倉村で活動する組織です。平成19年度から交付金活動を開始しており、現在活動を行う対象農用地は、水田 80.8 ha と普通畑 1.6ha と農地の多くは、水田です。組織の活動としては、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでいます。

2. 新たな活動を始める

活動組織では、「この地域のいいところを次の若い世代に繋げていきたい」との思いから令和5年度から新たな取り組みとして、植栽等の景観形成活動や、教育機関との連携活動（多面的機能の増進を図る活動）を始めました。広報活動では、朝倉支所発行の「あさくら便り」への掲載やFM ラジオでの広報活動にも力を入れています。そんな中で特に楽しみにしている活動は、地元小学校と連携し実施している農業体験学習です。今年、2019年に誕生した愛媛のブランド米「ひめの凜」の田植えから稲刈りまで行い、収穫したお米はとても美味しいと好評でした。また、小学校5、6年生を対象にしめ縄づくりも行いました。児童は「初めてでとても楽しかった。難しいことができてうれしかった」「去年は上手にできなかったけど、保全会の先生に教えてもらい、友達と協力して上手にできた」と嬉しそうに感想を伝えてくれました。

なお、この活動は、以下の項目に位置付けて活動をしています。

㊦やすらぎ・福祉及び教育機能の活用 ㊦広報活動・農的関係人口の拡大（一部抜粋）

3. これからの活動について

代表の元岡さんは「この地域は、高齢者が多く、若い子たちと交流を行うことはとても楽しみ。これからも組織で話し合っ計画を立てていきたい。今後は、農村の持つ多面的機能についても伝えていきたい」と語ってくれました。



朝倉紫陽花まつり 開催

6月23日(日)、梅雨空のもと、朝倉北集会所周辺で、今治市合併20周年記念事業として今治南甲・北保全会(代表:元岡忠行氏)主催による「朝倉紫陽花まつり」が開催されました。

来場者は約500株のアジサイが咲き誇る「アジサイロード」と呼ばれる農道沿いを歩き、色とりどりのアジサイを満喫しながら、気に入った花をはさみで切り取っていました。

また、小学生以下を対象にマスのつかみ取りも近くの水路で行われ、子どもたちは素早く逃げるマスを、歓声をあげながら懸命に追いかけていました。

その他、保全会員が栽培した野菜の即売会、メダカや金魚のおもちゃすくいもあり、家族連れなど約400人で賑わい、楽しいひとときを過ごしました。

